

「わたしにとどまりなさい」ヨハネの福音書15：5

序)

霊性とは？ ぶどうの木と枝の関係からヒントを得たい

ぶどう栽培で分かったこと（つる科植物）ぶどうの木と枝の一体感

「とどまる」とは、住む・滞在するを意味する

4－10節で10回（原語：メノー）も使われるほど重要な言葉

イエスは、とどまるということをも3つの視点で語られた

●わたしのことばにとどまりなさい7節

「あなたがたがわたしにとどまり、わたしのことばがあなたがたにとどまっているなら、何でも欲しいものを求めなさい。そうすればそれはかなえられます。」

「ことば」（原語：レーマ）というのは、イエスが個人的に直接語られる言葉を意味する

「かなえられる」とは、「あなたのためになる」ということを意味する（信仰において）

ことばにとどまる、すなわち信頼、従順が求められている

8節の「実」は、ことばにとどまることによって結ぶ信仰の実、これは栄光に繋がる

●わたしの愛にとどまりなさい9節

「父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛しました。わたしの愛にとどまりなさい。」

離れてしまうと何もできない（4節）

イエスの愛は、私たちに向けられている

それは、父なる神がイエスご自身を愛された愛だと語る

イエスの愛にとどまるとは、あなたがたが互いに愛し合うことだと語られた（12節）

●わたしの喜びがあなたがたにある11節

「わたしの喜びがあなたがたのうちにあり、あなたがたが喜びで満ち溢れるようになるために、わたしはこれらのことをあなたがたに話しました。」

イエスご自身の喜びが私たちに喜ばせる（喜びの共有）

その喜びは、満ち溢れると語られた

喜びの源泉は「とどまりなさい」と言われたイエスご自身

一匹の羊を喜ばれる（一人一人を喜ばれる）

結)

「わたしにとどまりなさい」という生活を、これからも継続していきましょう
クリスチャンでいることよりも、クリスチャンライフをしていきましょう